

卒業必修	保育士必修	幼稚園教諭必修	選択
授業科目名： 子どもと表現 ナンバリング：2324	教員の免許状／保育士資格 取得のための必修科目	単位数：1単位 （半期）演習	担当教員名： 小澤和恵、金美珍、 小日向千秋 担当形態：オムニバス
科目／系列	領域及び保育内容の指導法に関する科目 ／保育の内容・方法に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等 ／教科目	領域に関する専門的事項 ・表現		
授業の到達目標及びテーマ 1. 領域「表現」のねらい及び内容を理解し、子どもの表現の姿とその発達について理解できる。 2. 身体・造形・音楽表現など、様々な表現の基礎的知識と技術を身につけ、子どもの表現活動に展開することができる。 3. 子どもの表現を受け止め、留意点と評価の方法が理解できる。			
授業の概要 「表現」とは何かを学び、人間の成長にとって「表現」することの大切さとその発達過程について理解できるようにする。領域「表現」のねらい及び内容を理解し、身体・造形・音楽表現など、子どもが表現する様々な姿と方法を受け止め、子どもの表現活動を支援するための知識と技能、表現力を身につける。			
授業計画 第1回：オリエンテーション―「表現」とは何か（担当：小澤） 第2回：領域「表現」のねらいと内容（担当：小澤） 第3回：子どもの発達と音楽表現（担当：小澤） 第4回：子どもの音楽表現（歌う活動）（担当：小澤） 第5回：子どもの音楽表現（音を鳴らす活動）（担当：小澤） 第6回：子どもの発達と造形表現（担当：小日向） 第7回：造形表現の基礎技法（担当：小日向） 第8回：子どもの造形表現（様々な素材）（担当：小日向） 第9回：子どもの造形表現（描く活動）（担当：小日向） 第10回：子どもの造形表現（作る活動）（担当：小日向） 第11回：子どもの発達と身体表現（担当：金） 第12回：子どもの身体表現（リズムと動き）（担当：金） 第13回：子どもの身体表現（音楽と動き）（担当：金） 第14回：子どもの身体表現（イメージと動き）（担当：金） 第15回：子どもの身体表現（自由な動き）（担当：金） 定期試験：オムニバスのため、それぞれの授業内で行う。		授業時間外の学習 ・毎回の課題の予習と復習 ・次週のテーマについての調べ学習 授業で紹介される音楽表現活動の習得 （それぞれ各回各1時間程度） 授業で紹介される造形表現活動の準備と制作 （予習、復習に各回各1時間程度） 授業で紹介される身体表現活動の習得 （予習、復習に各回各1時間程度）	
授業の方法 講義とグループワーク。提出されたワークシートや課題にコメントを入れて返却する。			
テキスト 『幼稚園教育要領』（最新版）、『保育所保育指針』（最新版） 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』（最新版）			
参考書・参考資料等 『実践しながら学ぶ子どもの音楽表現』石井玲子編著 教育情報出版			
学生に対する評価 授業内課題・発表をルーブリック評価を活用し評価（80％）、授業参画度等（20％）を総合して評価する。			
履修上の注意 感性を豊かに、様々な表現活動を捉えるようにすること。			
実務経験の有無	無	実務経験	
実務経験を活かした教育内容			